

# 平和がすべて 世界にかがやけ憲法九条

## ～だんじりの街・岸和田から～

### 「九条の会・きしわだ」 スタートの集い

# 4月2日

(土)

午後1時30分

## マドカホール

お 話

### 「平和と生命の大切さ」

元米海兵隊員・ベトナム帰還兵

アレン・ネルソンさん



わたしたちの国は、六〇年ちかくまえに、「戦争をしない」と決めました。だからあなたは、戦争のためになにかをしたことはありません。

でも、国のしくみやきまりをすこしずつ変えていけば、戦争しないと決めた国も、戦争できる国になります。

(「戦争のつくり方」より)



キ リ ト リ セ ン

スタートの集い 参加協力券 (当日お持ちください)

名 前			
住 所			
電 話		FAX	

※当日、参加協力・資料代として500円お願いいたします。(高校生以下は無料です)

春を感じるようになってまいりました。

大江健三郎さんたち9人が呼びかけた「九条の会」のアピールに賛同する会を岸和田にもつくろうと、昨年11月末に11名の方が「賛同のお願い」を呼びかけました。ご賛同いただきありがとうございます。3月6日現在1169名の方から賛同のお返事を頂きました。

賛同していただいた方が1000名を超えたところで「スタートの集い」を計画しました。お忙しいと思いますが、お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

#### 「九条の会・きしわだ」事務局

私の名前は、アレン・ネルソンです。年齢は五〇歳。アメリカのニュージャージー州カムデン市に住んでいます。バスケットボールが好きで、毎日のように家の前の小さなコートで練習をしています。

私はクエーカー教団（キリスト教プロテスタントの一派）の平和委員会で、活動をしています。貧しい子どもたちが勉強できるように援助したり、戦争の恐ろしさをみんなで勉強して若者が軍隊に入らなくてすむように活動しています。ボランティアの活動です。

それから、もう一つ、私は仲間たちと一緒に「沖縄駐留米軍を米国に連れ戻すネットワーク」の活動をしています。去年（一九九六年）、今年と日本を訪れたのも、日本国内の米軍基地に駐留する米兵に祖国へ戻るように呼びかけるためでした。

さて、そんな私ですが、若い時にはまったく異なる人生を過ごしていました。海兵隊に入隊し、人を殺すことに何の疑問も感じていませんでした。沖縄を経てベトナム戦争に参加した私は、多くのベトナム人を殺害しました。その記憶は、後々まで自分を苦しめることになりました。

およそ三〇年ぶりに沖縄を訪れた私は、依然として多くの米軍基地が沖縄にあることに、大きな驚きを感じました。国土の〇・六パーセントの島に、国内の米軍専用施設の約七五パーセントが集中しているという数字を聞きました。

私は、自らの経験を含めて、日本の皆さんに、米軍基地とは何なのか、戦争とは何なのかを伝えたいと思います。沖縄に米軍基地が必要なのかをともに考えたいと思います。そして、軍隊のない、戦争のない社会を作るために、日本の皆さんと手をとっていききたいと思います。